

恵下埋立地（仮称）の工事区域内における環境調査について

1 経緯

- (1) 本市が一般廃棄物の最終処分場として整備を進めている恵下埋立地（仮称）の工事区域内において、平成21年度に実施した環境影響評価では、河川、地下水及び土壌に係る環境基準項目すべてを調査し、環境基準を上回る有害物質は確認されませんでした。
- (2) 平成28年8月に工事区域内から廃タイヤの燃え殻が発見され、燃え殻を分析した結果、ダイオキシン類と鉛が検出されました。
- (3) この燃え殻による周辺環境への影響を確認するため、平成28年11月から、周辺の河川及び地下水等の水質と河川底質の環境調査を実施したところ、検出されたダイオキシン類と鉛は環境基準以下であることが判明しました。
- (4) さらに、周辺住民の皆様の不安を払しょくするために、廃タイヤの燃え殻が発見された場所よりも上の地域における同様の有害物質の有無を確認することとし、目視調査を行ったうえで、平成29年4月から5月の間に、工事区域内の6地点の表層土壌の環境調査を実施したところ、3地点で環境基準を上回る鉛が検出されました。

2 調査結果

(1) 周辺の河川及び地下水等の水質、河川底質について（表-1参照）

- ① ダイオキシン類：水質、河川底質ともに環境基準を下回っていました。
- ② 鉛：水質からは、検出されませんでした。
河川底質には環境基準がありませんが、検出された値は市内の河川底質と大きな差はありませんでした。

表-1 周辺の河川及び地下水等の水質、河川底質の環境調査結果

区分 (調査地点)	調査日 (試料採取日)	ダイオキシン類		鉛		
		(pg-TEQ/L)		(mg/L)		
		環境基準	環境基準	環境基準	環境基準	
水質	河川	H28. 11. 17	0.3	1 以下	—	0.01 以下
	河川	H29. 3. 17	0.27		検出せず	
	地下水	H29. 2. 13	0.59		—	
	地下水	H29. 3. 17	0.017		検出せず	
	沢水	H29. 4. 3	0.65		検出せず	
河川底質 (河川)		(pg-TEQ/g)		(mg/kg)		
	H29. 3. 17	1.6	150 以下	12	基準なし	

(2) 表層土壌について（表-2参照）

- ① ダイオキシン類：すべての地点で、環境基準を下回っていました。
- ② 鉛：6地点中3地点で、環境基準を上回っていました。

表-2 表層土壌の環境調査結果

区分 (調査地点)	調査日 (試料採取日)	ダイオキシン類		鉛		
		(pg-TEQ/L)		(mg/L)		
		環境基準	環境基準	環境基準	環境基準	
表層土壌	土壌①	H29. 4. 12	59	1000 以下	0.002	0.01 以下
	土壌②				0.042	
	土壌③				0.014	
	土壌④				0.033	
	土壌⑤				検出せず	
	土壌⑥				検出せず	

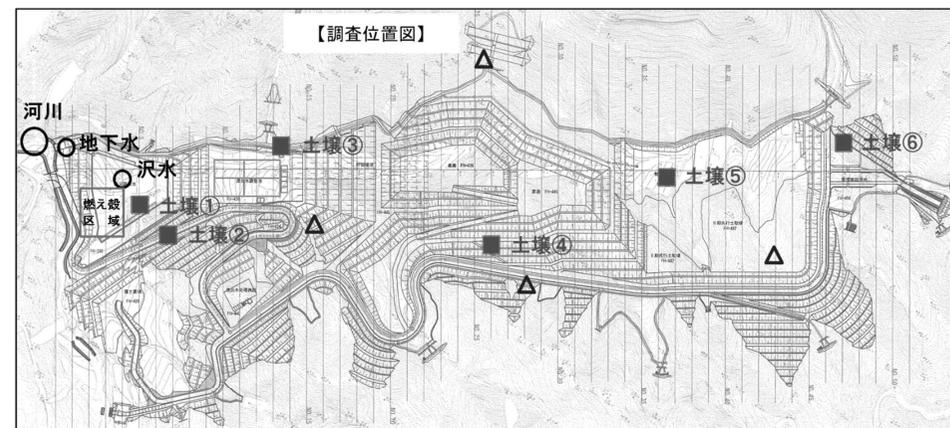
環境基準を超過

※ なお、平成21年度に実施した環境影響評価の際に確認された銅（環境基準を下回っていた）は、今回の環境調査を行ったすべての地点において、検出されませんでした。

3 今後の対応

平成21年度に実施した環境影響評価においては、環境基準を上回る有害物質は確認されませんでした。今回、表層土壌の一部ではあるものの、環境基準を上回る鉛が検出されたことから、埋立地と周辺地域の安全性の確保に万全を期すため、土壌汚染対策法に準拠した調査を実施することとします。

さらに、周辺の河川や地下水の水質についても、今後の燃え殻の撤去作業の段階に応じて、適宜調査を実施し、その都度結果の公表を行います。



【凡例】	
○	河川・地下水・沢水調査地点
■	表層土壌調査地点
△	環境影響評価時の土壌調査地点